

(令和7年度 大学入学共通テスト用)

入構許可申請書

令和 年 月 日

岩手大学長 殿

(申請者)
学生証番号 _____

_____ 学部 _____ 学科・課程 _____ 年次

_____ 研究科 _____ 専攻 _____ 年次

氏名 _____

下記の理由により、大学入学共通テスト当日に入構したいので、許可願います。

記

入館日時及び場所 (例：1月〇日 (□) △時～△時 ○学部〇号館〇〇研究室)

注) 人文社会科学部1号館を入館場所とする申請は許可できません。

..... 1月 日 () 時～ 時

理由 (詳細に記入してください。)

.....
.....
.....

上記の者について、入学試験に影響を与えないよう指導しますので、入構を許可願います。

指導教員等 _____ 印

コース長・専攻長・プログラム長、入試委員 _____ 印

○入構規制

- (1) **令和7年1月18日(土)、19日(日)**は、**原則として入構を禁止**します。
- (2) 特別な理由により、入構しなければならない者は、「入構許可申請書」に入構理由等を記入し、**令和7年1月8日(水) 17時まで(厳守)**に、裏面記載のとおり、所属先の許可を得たうえで、各担当窓口へ申請し、リボンを受け取ってください。但し、所属先の許可を得られた場合であっても**人文社会科学部1号館**への入館を目的とした申請については**いかなる理由であっても許可いたしません**のでご注意ください。

なお、入構中は必ずリボンを着用してください。

- ※ コース長・専攻長・プログラム長 (理工学部・理工学研究科・総合科学研究科の一部) と、入試委員 (農学部) は裏面に掲載しています。
- ※ 申請受付期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しません。
- ※ リボンの再交付はしません。
- ※ **リボンは、令和7年1月22日(水)までに学生センターA棟窓口へ必ず返却すること。**

リボンの返却	年 月 日
--------	-------

<学部>

- ・人文社会科学部 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・教育学部 原則として入構禁止
- ・理工学部 指導教員等及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学部 指導教員等及び入試委員の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

<大学院総合科学研究科>

- ・総合文化学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・地域創生専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟⑤窓口に申請
(ただし、金型・鋳造プログラムと社会基盤・環境工学プログラムは指導教員等とプログラム長の署名・押印)
- ・理工学専攻 指導教員及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

<大学院教育学研究科>

- ・教職実践専攻 原則として入構禁止

<大学院理工学研究科>

指導教員等及び専攻長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

理工学部 コース長

化学・生命理工学科 (化学コース)	白井 誠之
〃 (生命コース)	福田 智一
物理・材料理工学科 (数理・物理コース)	中西 良樹
〃 (マテリアルコース)	鎌田 康寛
システム創成工学科 (電気電子通信コース)	西館 数芽
〃 (知能・メディア情報コース)	山中 克久
〃 (機械科学コース)	花原 和之
〃 (社会基盤・環境コース)	大西 弘志

理工学研究科 専攻長

自然・応用科学専攻	福田 智一
システム創成工学専攻	花原 和之
デザイン・メディア工学専攻	齊藤 貢

総合科学研究科 プログラム長・コース長

(地域創生専攻)	
金型・鋳造プログラム長	内館 道正
社会基盤・環境工学プログラム長	大河原 正文
(理工学専攻)	
物質化学コース	白井 誠之
生命科学コース	福田 智一
数理・物理コース	石垣 剛
材料科学コース	小林 悟
電気電子通信コース	西館 数芽
機械・航空宇宙コース	花原 和之
知能情報コース	山中 克久
デザイン・メディア工学コース	齊藤 貢

農学部 入試委員 (所属学科・コースに限らず署名可)

植物生命科学科	下野 裕之	
応用生物化学科	宮崎 雅雄	
森林科学科	東 淳樹	
食料生産環境学科	〔農村地域デザイン学コース〕 〔食産業システム学コース〕	前田 武己
〃		(水産システム学コース)
動物科学科	出口 善隆	
共同獣医学科	森田 智也	山田 慎二